

サラ・ロレンツィーニ著(三須拓也、山本健共訳)
『グローバル開発史—もうひとつの冷戦史—』
(名古屋大学出版会、2022年) 出版記念 オンライン研究会

2022年11月4日(金) 13:30~16:00

(延長の場合も16:30には終了予定)

【登壇者】

三須拓也 (東北学院大学法学部・教授)

山本健 (西南学院大学法学部・教授)

司会および問い合わせ先: 加藤雅俊 (立命館大学准教授)



開催形態: Zoomのミーティング

事前登録制

参加をご希望の方は、11月2日(水)の17時までに、以下のリンク先およびQRコードからお申し込みください。研究会前の13時までに、Zoomのミーティングルームのリンク先を送付します。

<https://forms.office.com/r/wEE1aRibkX>



20世紀の国際社会において、開発はなぜ／どのように進められてきたのか。開発をめぐる光と影は、現代の国際関係における主要な論点であり、その歴史的展開を理解することは、現在に生きる私たちにとって重要なことである。

サラ・ロレンツィーニ『グローバル開発史—もうひとつの冷戦史—』は、アメリカ、ソ連、ヨーロッパ、中国などの大国、国連をはじめとした国際機関、NGOをはじめとした非政府組織など、多様な主体が織りなす実践に注目して、20世紀における開発の展開をグローバルな視点からダイナミックに描く好著であり、国際開発史としてだけでなく、冷戦史としても大きな学術的貢献をなしている。本研究会では、翻訳者の三須氏と山本氏から本書の概要をご紹介いただき、その意義と課題についてご報告いただき、その後ディスカッションを行う。

本企画が、開発や冷戦史に関する理解を深める機会となれば幸いである。

【主催】

- 立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
- 科学研究費・基盤研究(B) 「家族主義レジーム」の変容に関する国際比較研究—家族政策の多様化とその因果的背景」 (研究代表者:加藤雅俊)

